

鈴木ひとみ市政報告

ごあいさつ

明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

大みそかの夜、安房相撲クラブの土俵をタレントのヒロミさんが3カ月かけてリフォームするという特別番組が生放送を交えて放送されました。館山市のポテンシャルの高さを多くの方が指摘し、関わってくださっています。昨年は、資生堂創業者「福原有信」の出身地であることにちなみ、若潮マラソンへの資生堂の協賛、館山市立博物館の企画展「福原有信と館山」、SHISEIDO BLUE PROJECT 館山ビーチクリーン、福原コーポレーション

との包括連携協定締結と市民グラウンド、出野尾多目的広場のネーミングライツ協力など様々な関係づくりが進みました。館山市に商機ありと進出してきた「ドン・キホーテ」や「ペイシア」、リピーターとして何度も訪れる人々、移住や二拠点居住に踏み切る人たちなど、様々な人たちが関わりを深めています。

これまで築かれてきた関係性を更に強くし、高いと評価される館山市のポテンシャルを活かしていくことが今年の大きな課題です。皆様方と一緒に議論し、知恵を出し合いながら地域の活性化を目指したいと思います。

令和7年12月市議会定例会 一般通告質問から



幼保連携型認定こども園OURS館山

館山市の公立幼稚園とこども園の短時間枠は4、5歳児の2年保育のみ。基本的に「両親が共働きではない」子どもたちは、公立では2年保育のみです。今年度、幼保連携型認定こども園OURS（アワーズ）館山が開園し、3歳児の短時間枠が創設されたので、以前に比べてより多くの3歳児が幼児教育を受けられるようになりました。しかし、まだ受けられない子どももいるのではないのでしょうか。

市の答弁は、「3歳児で希望してこども園、保育園に入ることのできない子どもはわずかなので、対応しない」とのことでしたが、実際には、「3歳の子どもの預けるために、2歳以下の下の子どもも預けて働くという選択をした」という話も聞きます。3歳は社会性が発達し、活動も活発になるため、この時期の幼児教育は重要です。

北条幼稚園が閉園になり、学校再編に伴う幼稚園の再編も予想されます。保育士の余裕もでき、幼稚園の3歳児保育、こども園の3歳児の短時間枠を始める好機です。

館山幼稚園では支援の必要な子の受け入れも行っています。3歳から専門職による対応を行えば、より早い時期から子どもの成長が促され、家族の負担も軽減されます。

市立幼稚園での3歳児保育の実施、
こども園での3歳児短時間保育の実施、
さらに産前産後の家事・育児支援に援助を。

子育て環境
充実のために

以前は、大家族や里帰り出産で、親の世代が産後のケアをし、母親の体調が回復するまで上の子どもの世話もすることが当たり前でした。核家族化が進み、親世代も働いていて、産後の母親が無理をして家事、育児を担う状況が生まれています。

一方で、育児支援や家事代行サービスを行う事業所が出てきました。孤立して不安を感じる家庭でも安心して子育てをスタートできるように、専門家によるサポートや育児・家事を手助けするサービスへの支援が求められます。